

趣味



淡路には俳句を詠まれる方が多く、句会も各市に多数あると聞き、患者様に俳句の楽しみを教えて頂きました。

Q：何歳頃から俳句を始められましたか？
A：四十二歳の新年でした。

Q：俳句は難しくないですか？
A：難しくありません。

Q：俳句に興味をもたれた理由は？
A：中学二年生の国語の教科書にあった「萩も早や盛り過ぎゆく雨つづき」の句に鮮烈な印象を覚えました。

Q：俳句の楽しさ、おもしろさをお聞かせ下さい。

A：新しい発見です。十七文字、音の魅力にとりつかれました。

ありがとうございます。

五七五の三句、十七音という限られた文字数の中で、自然の美しさや、人の心情を最大限に表現するのは大変難しいと思います。が、頂きました一句を御紹介いたします。

「西瓜食ぶ
時には

母の痴呆なし」

俳句以外にも皆様の色々な趣味のお話をお聞かせ下さい。お待ちしております。

(編集委員会
赤松 陽子)



新人紹介



新人スタッフをご紹介します。

- Q：お名前を教えてください。
A：伊藤彩香（イトウアヤカ）です。生年月日は平成元年5月21日。ふたご座。O型です。
- Q：趣味は何ですか？
A：映画を見る事です。最近は少し前に『アリスインワンダーランド』を見に行きました。3Dだったのでごく迫力がありました。
- Q：この仕事を選んだ理由は？
A：私が医療機関に興味を持ち始めたのは、テレビや小説で病気を治そうと頑張っている人たちを見て、私も何らかの形で医療にたずさわりたいと考えたからです。自分の事を見つめた時に、医療事務という職業を知り進もうと決めました。
- Q：特技はなんですか？
A：料理をする事です。
- Q：今後してみたい事は？
A：この夏に、キャンプをしに行けたらと思っています。
- Q：今後の目標をお願いします。
A：早く仕事を覚えて、患者様の役に立てる医療従事者になれるよう一生懸命頑張ります。

(医療事務 伊藤彩香)

漢方入門④ 慢性頭痛と漢方



頭がズキズキと痛む。大事な仕事や楽しい会合などを邪魔するかのよう起こる頭痛。つらいですね。実は、日本人の3人に1人が頭痛もちとされています。頭痛にはさまざまな原因で起こります。なかには脳の重大な病気(脳腫瘍、くも膜下出血等)による場合もありますから、まずきちんと診断を受ける事が大切です。

検査では異常がないのに長い間繰り返し起きる頭痛が「慢性頭痛」で、頭の片側がズキンズキンと脈打つように痛む「片頭痛」と、頭全体が締めつけられるように痛む「緊張型頭痛」が代表的です。両方が合併している場合もあります。こうした頭痛には漢方治療が適応となります。片頭痛のような強い頭痛に最もよく用いられるのが呉茱萸湯(ゴシュユトウ)で、胃腸が虚弱で冷えがあるような人に向く薬です。一方、胃腸虚弱や冷えがなく、特に天気が崩れる前に頭痛がひどくなるような人には五苓散(ゴレイサン)がよく用いられます。緊張型頭痛では肩や首すじがこる、起床時に頭痛がひどいような人に釣藤散(チョウトウサン)が使われます。

他にも半夏白朮天麻湯(ハンゲビャクジュツテンマトウ)や川芎茶調散(センキュウチャチョウサン)など、個人の症状・体質に合わせていろいろな漢方薬が使われます。頭痛でお悩みの方はお気軽に当院にご相談ください。